

授業科目 教育相談

【担当教員名】 山崎 史恵	対象学年	3	対象学科	健栄・スポ
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	◎
【概要・一般目標：GIO】 学校における教育相談の意義や進め方、技法についての基本的な知識を学ぶとともに、学校現場で見られる児童・生徒の種々の問題（不登校やいじめ、不登校行動、心身の症状など）について理解を深める。具体的な事例を参考にしながら、生徒の問題の背景にある種々の要因を検討できる力をつけ、各ケースに対して適切な判断、対応、および多角的な考察ができることを目標とする。また教師の役割を踏まえたうえで、他機関や保護者との連携についても理解を深める。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 教育相談において教師が取り扱う領域と独自性、効用、および限界について説明できる。 2. 出現した問題（不登校、非行、問題行動等）の背景にある家族関係・環境・心理的発達および疾病等の要因を多角的に検討できる。 3. 生徒や保護者に対して適切なインテーク（初回）面接を実施することができる。 4. 相談面接を実施した後、ジェノグラム（家系図）等を記した具体的な相談報告書を作成することができる。 5. カウンセリングの基本的態度およびスキルに基づき、生徒や保護者の話に共感しながら適切な見立てと柔軟な対応ができる。 6. 他の教員（養護教員等）や専門家、他機関へのリファール（他に任せること）を適切に判断し、連携を取ることができる。				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーション：教育相談とは	1	講義（実習を含む）・小レポート	
2	教育相談のルール、枠組み、構造、および倫理	1～6	講義（実習を含む）・小レポート	
3	ジェノグラム（家系図）の書き方	4	講義（実習を含む）・小レポート	
4	インテーク面接（初回面接）の要点と行い方	3・4	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート	
5	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2・3・4	講義（実習を含む）・小レポート	
6	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2・3・4	講義（実習を含む）・小レポート	
7	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2・3・4	講義（実習を含む）・小レポート	
8	児童生徒の心理的な問題の現れ方とその対応	2・3・4	講義（実習を含む）・小レポート	
9	相談における見立ての重要性について	2・5	講義（実習を含む）・小レポート	
10	教育相談における相談事例の実際	2～5	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート	
11	生徒への相談面接（ロールプレイ）	2～5	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート	
12	保護者への相談面接（ロールプレイ）	2～5	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート	
13	相談面接における非言語的アプローチ（遊戯療法・絵画療法など）	2・5	講義（実習を含む）・グループワーク・小レポート	
14	教育相談における学内および外部機関との連携	1～6	講義（実習を含む）・小レポート	
15	ロールプレイ実技およびレポート	1～6	ロールプレイ・レポート	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	スクールカウンセリング モデル100例	かしまえりこ、神田橋條治	創元社	2006・3,200円＋税
その他の資料				
【評価方法】 出席状況（20%）、授業内レポート（30%）および期末レポート（50%）にて総合的に評価		【履修上の留意点】		